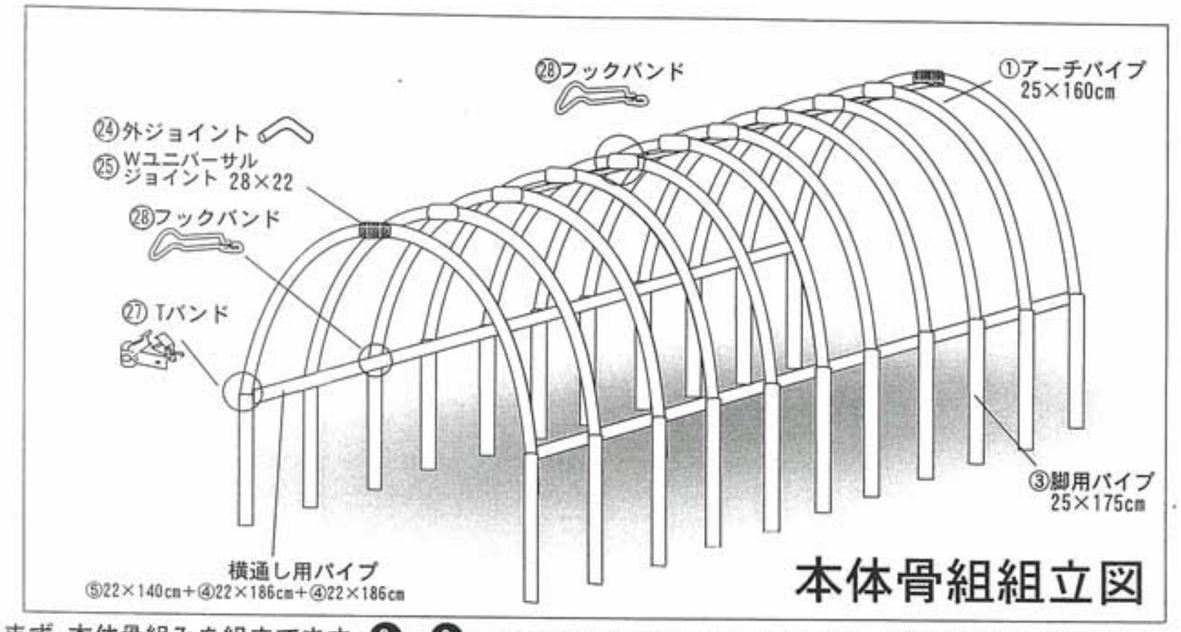
オリジナル菜園ハウス OH - 2750 部材表

保存
【1002】

No.	品名	規格	数量	形状
		A梱包		
①	アーチパイプ	25×160SA (mm cm)	22	
②	カラー番線	#8×12 (mm m)	1	
		B梱包		
③	脚パイプ	25×175P (mm cm)	22	
		C梱包		
④	横通しパイプ	22×186S (mm cm)	6	
⑤	横通しパイプ	22×140 (mm cm)	3	
⑥	前褄パイプ	25×180SP (mm cm)	2	
⑦	前褄パイプ	25×71 (mm cm)	2	
⑧	戸受けパイプ	22×120 (mm cm)	1	
⑨	ビニバー(前上)	129cm	1	
⑩	ビニバー(前上)	51cm	1	
⑪	ビニバー(前中)	60cm	2	
⑫	ビニバー(前下)	75cm	2	
⑬	後褄パイプ	25×180SP (mm cm)	2	
⑭	後褄パイプ	25×71 (mm cm)	2	
⑮	ビニバー(後共通)	146cm	2	
⑯	ビニバー(後上)	75cm	1	
⑰	ビニバー(後下)	109cm	1	
⑱	扉パイプ	19×90 (mm cm)	3	
⑲	扉パイプ	19×160 (mm cm)	2	
⑳	スプリング	180cm	6	
㉑	ロングパッカー	19×180 (mm cm)	4	

No.	品名	規格	数量	形状
		D梱包		
㉒	天ビニール	0.1×3.7×8.0 (mm m m)	1	
㉓	側ビニール	0.1×1.85×17 (mm m m)	1	
㉔	扉ビニール	0.1×2.0×1.3 (mm m m)	1	
		E梱包		
㉕	外ジョイント	28×18cm	11	
㉖	ユニバーサルジョイント	28×22	2	28×22刻印
㉗	ユニバーサルジョイント	25×25	4	25×25刻印
㉘	Tバンド	25×22	4	
㉙	フックバンド	28×22 25×22兼用	27	
㉚	妻金具	25mm用	14	
㉛	ビニバー継手		3	
㉜	クロスワン	25×22	2	
㉝	パイプ止金具	25用	6	
㉞	パッカー	25mm用	8	
㉟	パッカー	22mm用	20	
㊱	Rバンド	150m	1	
㊲	ターンバックル	3/8×20 (cm)	2	
㊳	ラセン杭	小	10	
㊴	ドア蝶番	25×19	2	
㊵	掛金		1	
㊶	ボルトナット	M5×25	6	
㊷	スパナ		1	
㊸	水糸	約100m	1	
㊹	スポンジテープ	4.5×10 (cm cm)	16	



まず、本体骨組みを組立てます。❸～❾までで上記骨組みが完成します。その後、後部、前部と組み立てていきます。）

❸ 横通しパイプを継ぎ印を付ける。

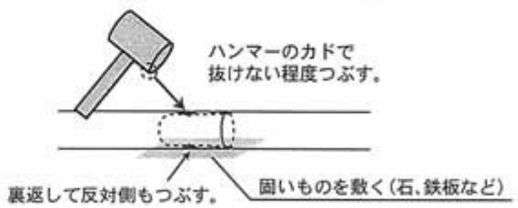
Cケース ④ 22×186cm 6本　Cケース ⑤ 22×140cm 3本

(1)④と④を差し込み、⑤に差し込んで下さい。
(2)継いだ横通しパイプに50cmごとに印を付けて下さい。
(3)継ぎ目を抜けない様にして下さい。

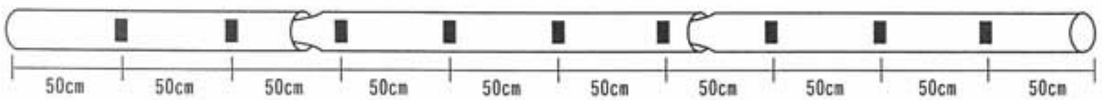
⑤ ④ ④
140cm 186cm 186cm

3組作ります。

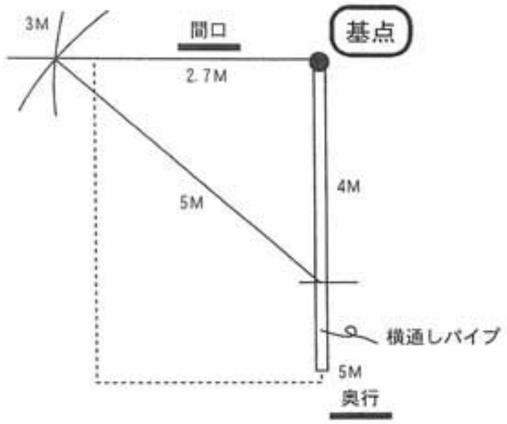
全ての継ぎ目を抜けない様につぶして下さい。
（完成後、風などの揺れで、抜ける事が有ります。）



50cm間隔に印を付けて下さい。 ❗脚用パイプの埋め込み・取り付け位置となります。



❹ 基点を決め、直角を出す。

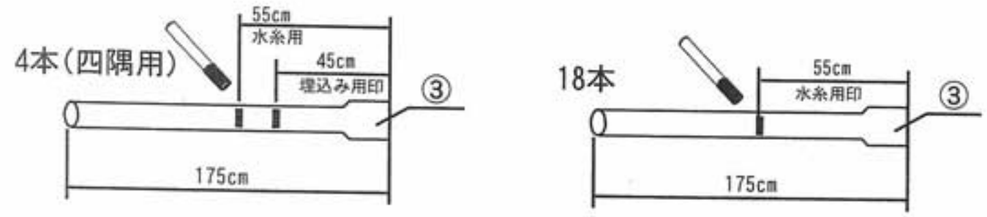


○直角を出す方法

(1) 基点を決める。
(2) 横通しパイプを1本置く。
(3) 基点から4M（横通しパイプに対して）・3M（間口に対して円をかく用に）印を付ける。
(4) 横通しパイプ上の4Mの印から5M（円をかく用に）とり、3Mとの接点をだす。
(5) 基点と接点に線をひき、基点より2.7Mに印を付ける。

❺ 脚用パイプに印を付ける。

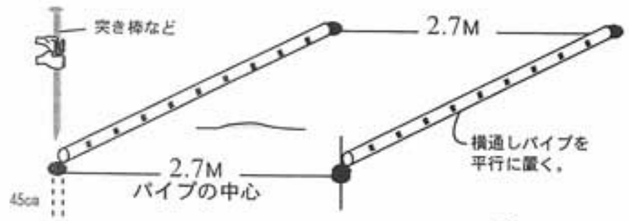
Bケース ③ 25×175cm 22本



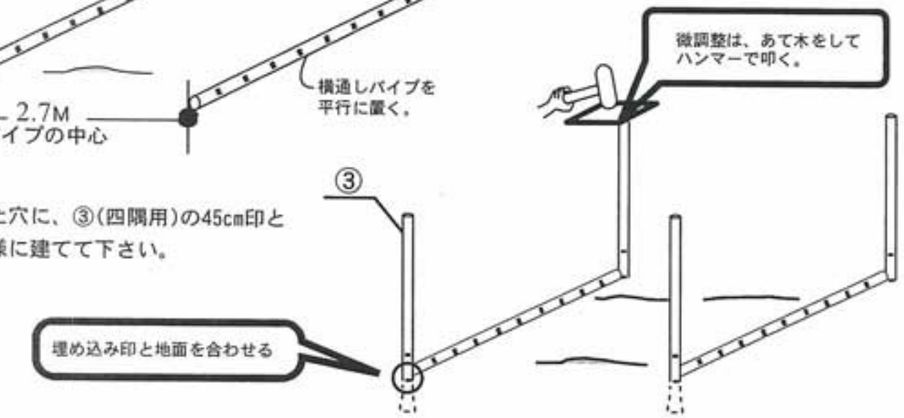
マジックで印を付ける。

❻ 脚用パイプを建てる

(1) 継いだ横通しパイプを2.7m間隔（パイプ中心）に平行に置き、四隅に約45cmの穴を掘る。

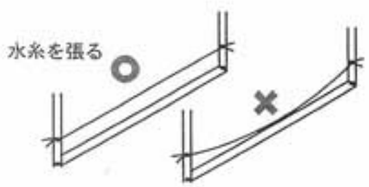


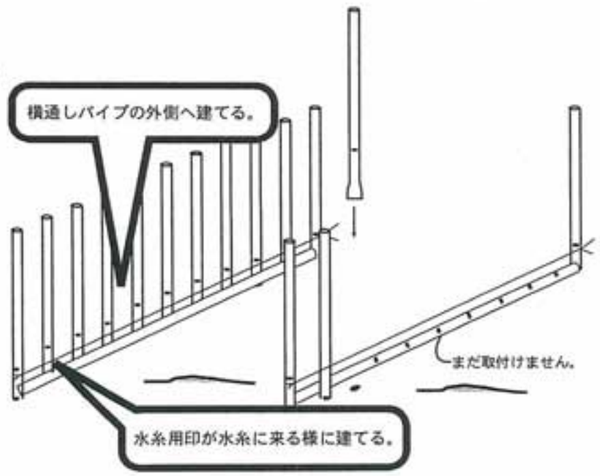
(2) 四隅に開けた穴に、③（四隅用）の45cm印と地面が合う様に建てて下さい。



Eケース ㊷ 水糸 1個

(3) 四隅に建てた③のパイプに付けた印（水糸用55cm）に、㊷を結び付け、張る。
(4) 横通しパイプに付けた印（50cm間隔）の位置に約45cm穴を掘る。
(5) 残りの③のパイプを建てる。
（張った水糸と、③のパイプの水糸用印（55cm）が、合う様に建てる。





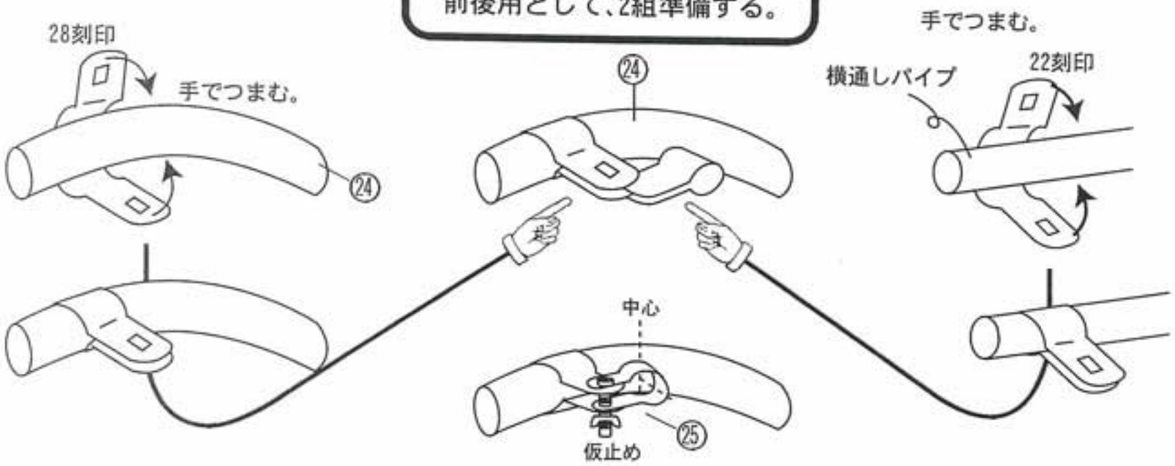
⑦ 外ジョイントに部品を取り付ける。

Eケース ㉔ 外ジョイント 2本 **Eケース ㉕ ㈱ユニバーサルジョイント 2組**

(1) ㉕の部品を一旦バラして、㉔に28(刻印)・横通しパイプに22(刻印)を、それぞれ合わせて形を作って下さい。

(2) 形を作った㉕を㉔で組み合わせて下さい。

前後用として、2組準備する。



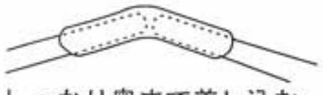
⑧ アーチパイプを脚パイプに差し込み、組む

Aケース ① 25×160cm 22本 **Eケース ㉔ 外ジョイント 9本**

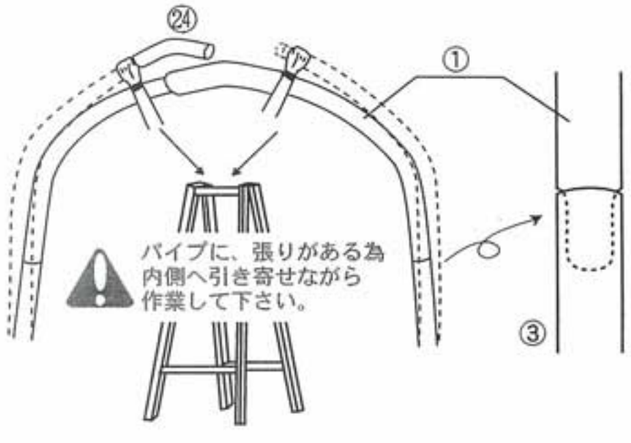
(1) ①の先の細い方を③に、差し込んで下さい。

(2) ㉔を①に差し込み、継ぐ。⑦で作った2組は、最前と最後に使用して下さい。

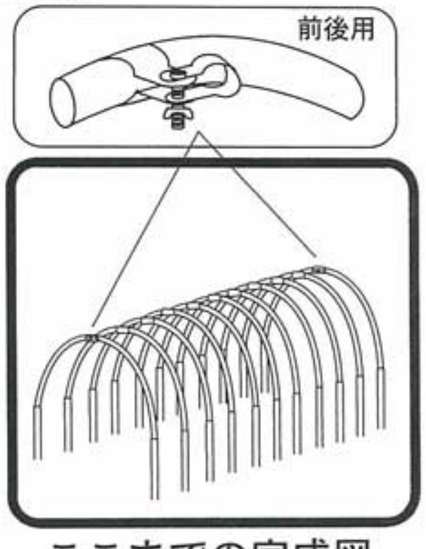
⚠ 上から押さえ込む様にすると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないで下さい。



しっかり奥まで差し込む



⚠ パイプに、張りがある為内側へ引き寄せながら作業して下さい。

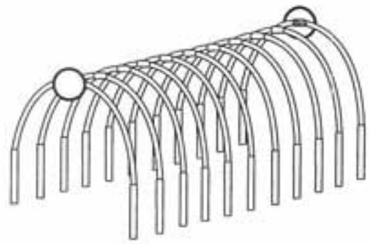


ここまでの完成図

⑨ 横通しパイプを本体内側に取り付ける。

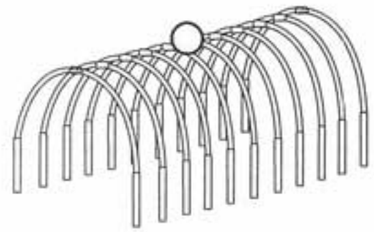
(1) 図の順番に横通しパイプを取り付けて下さい。

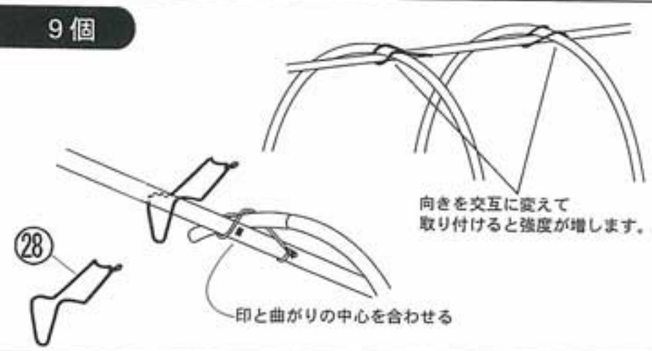
前後2箇所に取り付けて下さい。



Eケース ㉘ フックバンド 9個

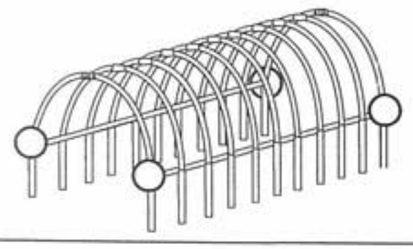
中9箇所に取り付けて下さい。

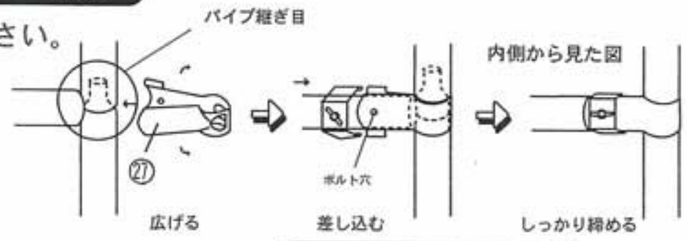




Eケース ㉗ Tバンド 4組

前後左右4箇所に取り付けて下さい。

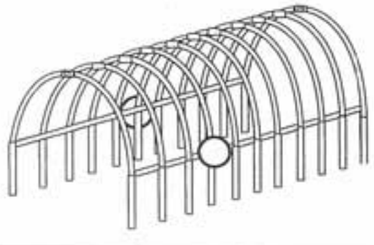


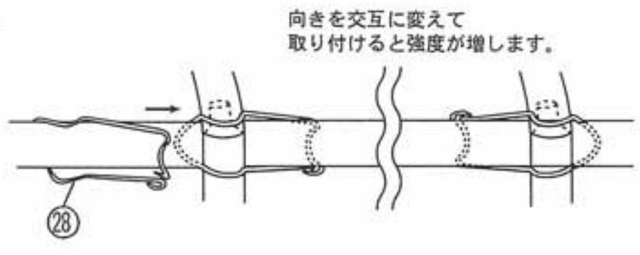


ネジ突起部は、内側へ。

Eケース ㉘ フックバンド 18個

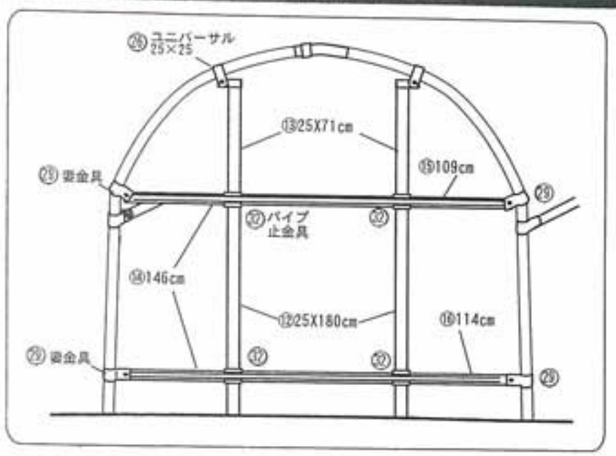
左右中18箇所に取り付けて下さい。





本体骨組完成

⑩ 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)

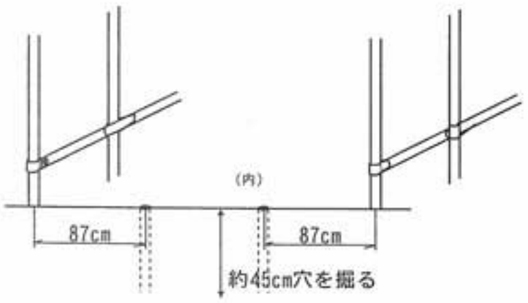


Cケース	⑫	25×180cm	2本
Cケース	⑬	25× 71cm	2本
Eケース	㉖	ユニバーサルジョイント25×25	2組

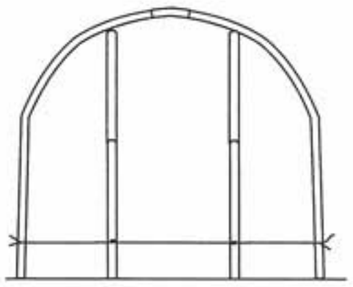
(1) ⑫後用パイプに、印を付けて下さい。

※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。その時、下に固いものを敷く。

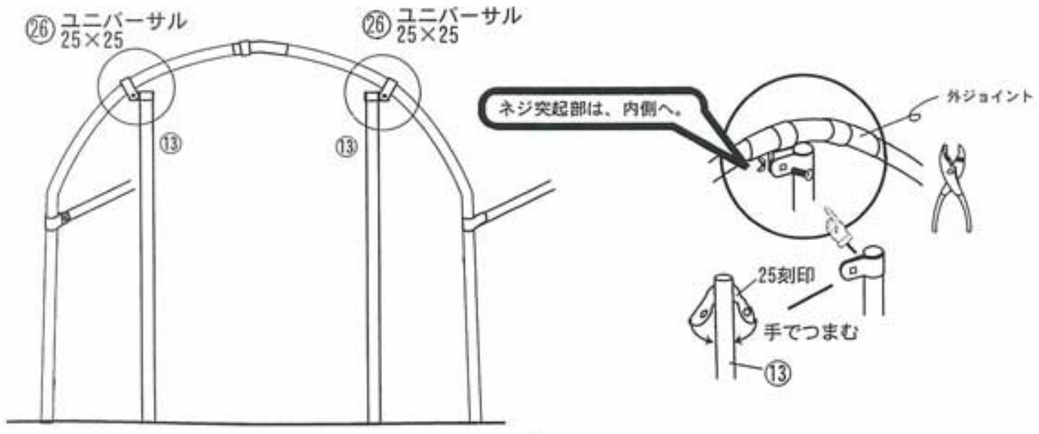
(2) 下図の位置に、約45cm穴を掘る。



(3) 間口両端脚パイプの水糸用印に水糸を張り、⑫の印が合う様に建てて下さい。



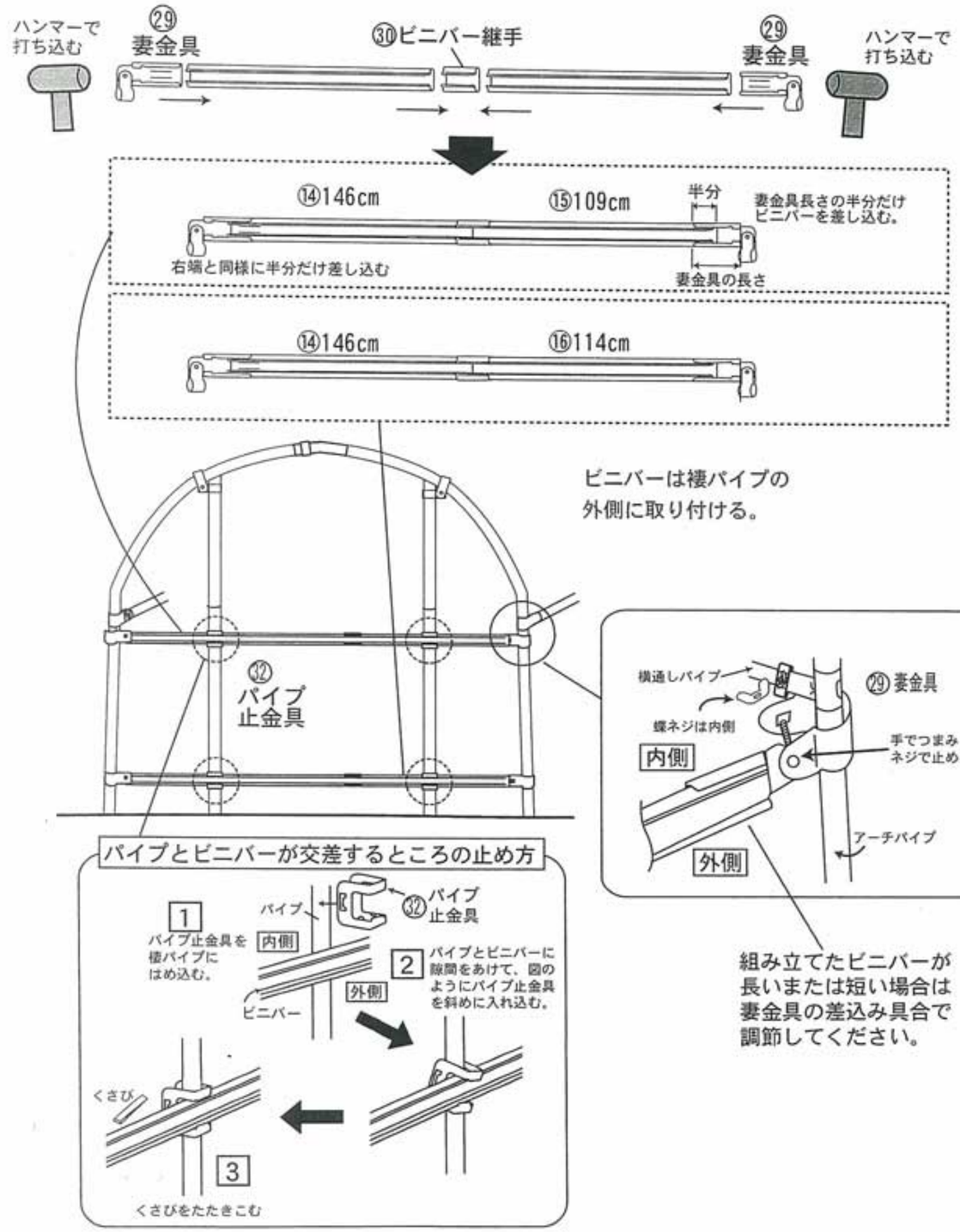
(5) アーチパイプと⑬パイプの接点を㉖でとめてください。



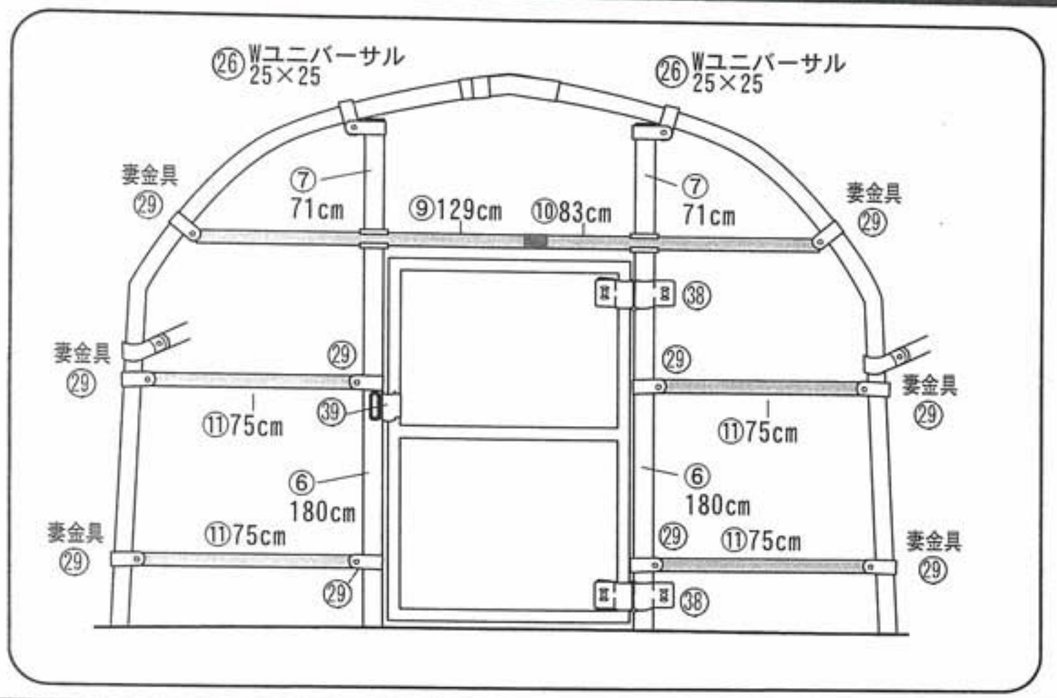
⑪ 後部パイプ組み立て(出入り口ではありません。)つづき

Cケース	⑭	ビニバー	146cm	2本
Cケース	⑮	ビニバー	109cm	1本
Cケース	⑯	ビニバー	114cm	1本

Eケース	㉙	妻金具	4個
Eケース	㉚	ビニバー継手	2個
Eケース	㉜	パイプ止金具	4個



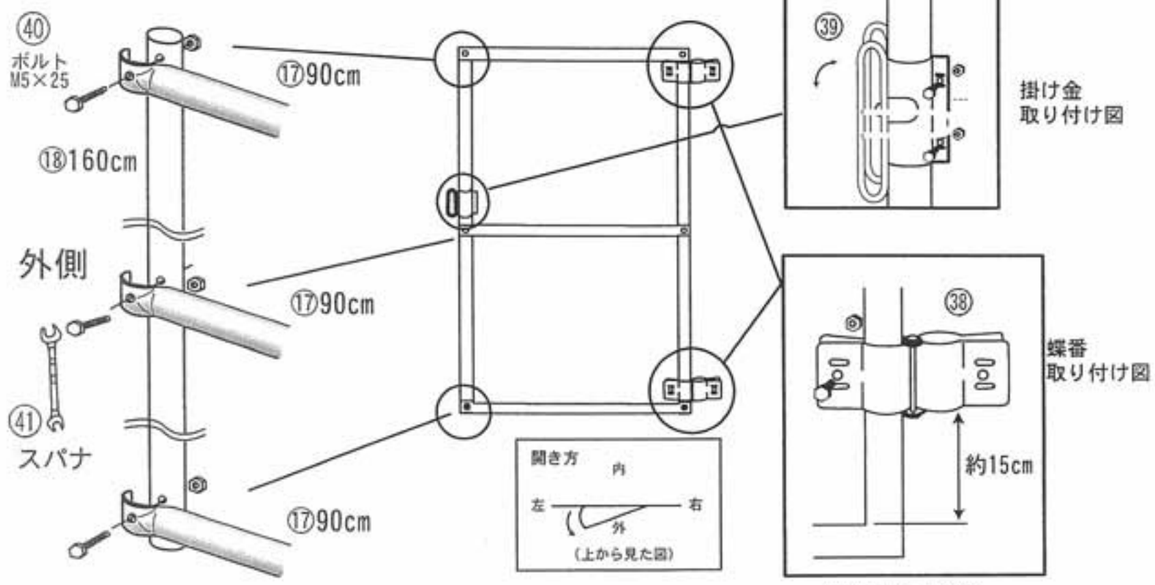
前パイプ組み立て(出入り口)



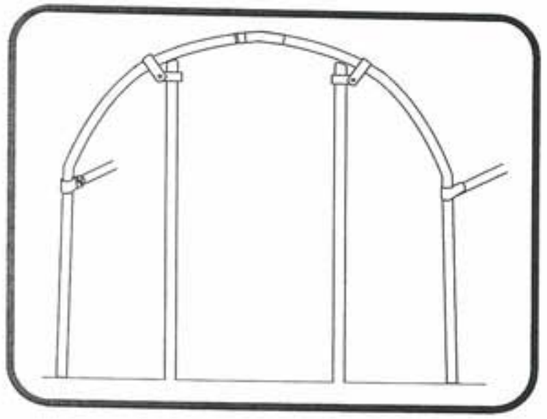
⑫ 扉を組み立てる。

Cケース	⑰	19×90cm	3本	Eケース	㊵	ボルト・ナット	各6個
Cケース	⑱	19×160cm	2本	Eケース	㊴	掛金	1個
Eケース	㊶	スパナ	1個	Eケース	㊳	蝶番	2個

扉骨組を下図のように組立て、蝶番と掛け金を取り付ける。

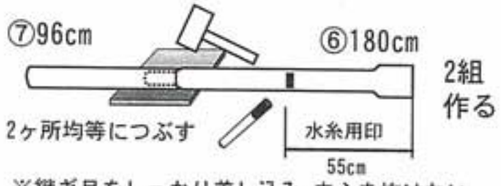


⑬ 前パイプ組み立て(出入り口) つづき



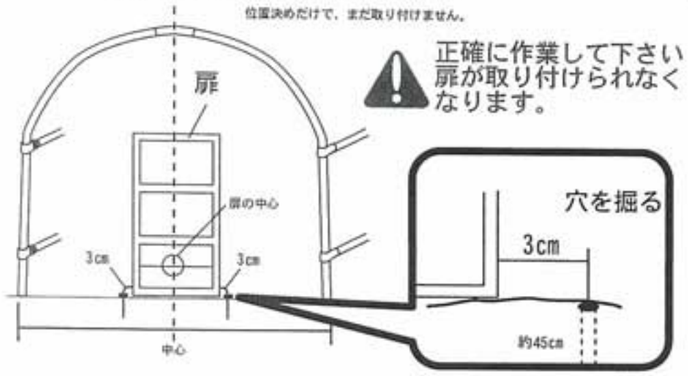
⑫ で組立てた 扉			
Cケース	⑥	25×180cm	2本
Cケース	⑦	25×71cm	2本

(1) ⑥に、印を付けて⑦と継いで下さい。



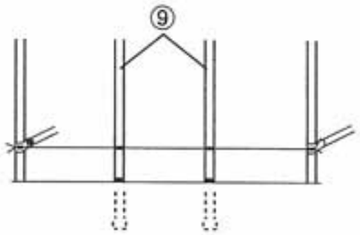
※継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。その時、下に固いものを敷く。

(2) 間口と扉の中心を合わせて、扉の両端より左右3cmの位置に約45cm穴を掘る。



正確に作業して下さい 扉が取り付けられなくなります。

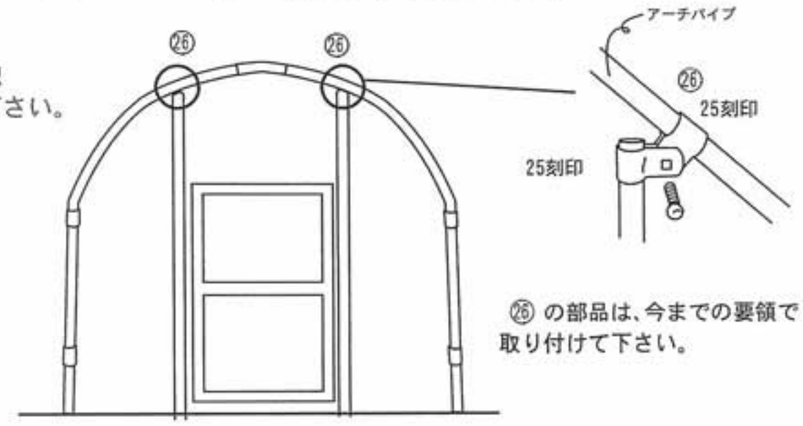
(3) 間口両端脚パイプの水糸用印に水糸を張り、⑥の印が合う様に建てて下さい。



Eケース	㉖ ユニバーサルジョイント	25×25	2組

下図のようにパイプの先端部とアーチパイプの接点を㉖で止めて下さい。

扉との間隔を確認しながら止めて下さい。



㉖の部品は、今までの要領で取り付けて下さい。

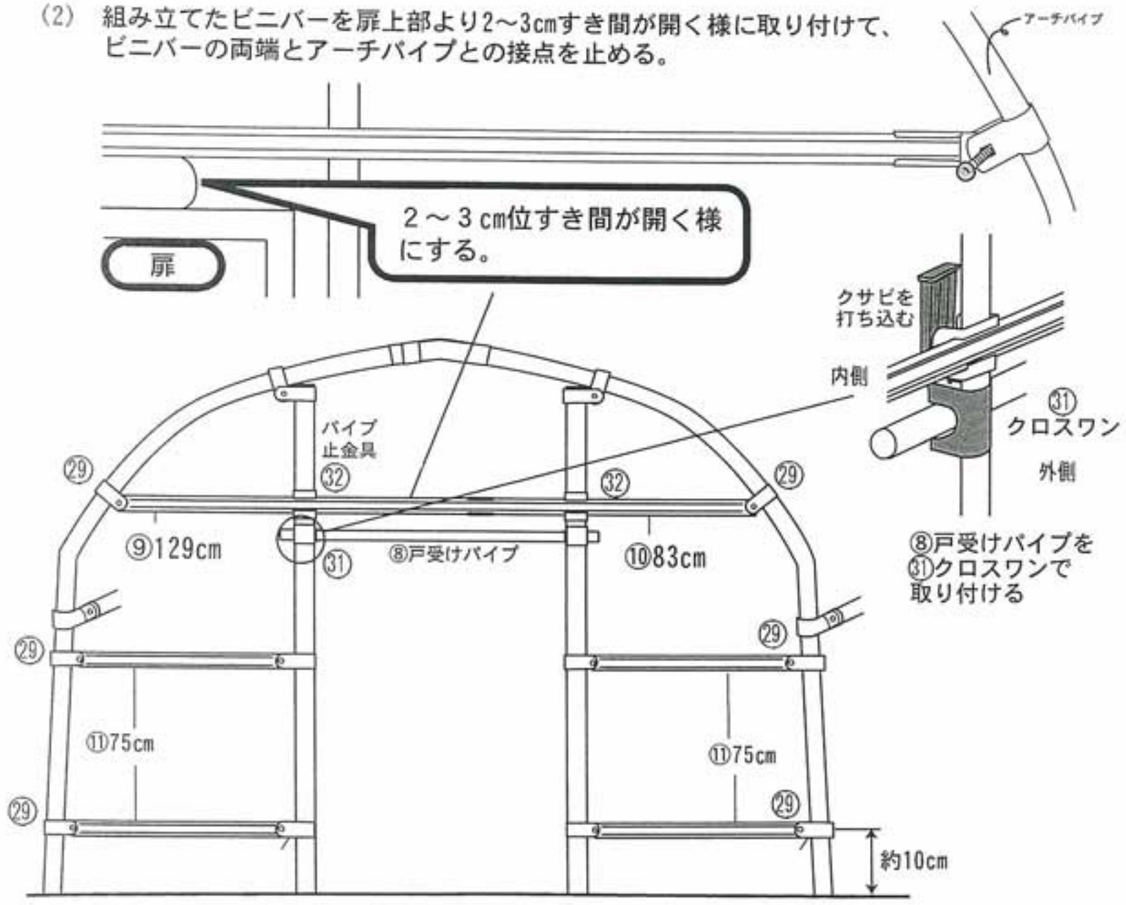
⑭ 前後パイプ組み立て(出入り口) つづき

Cケース	⑨	ビニバー	129cm	1本
Cケース	⑩	ビニバー	83cm	1本
Cケース	⑪	ビニバー	75cm	4本
Cケース	⑧		120cm	1本

Eケース	㉚	ビニバー継手	1組
Eケース	㉜	パイプ止金具	2個
Eケース	㉙	妻金具	10個
Eケース	㉛	クロスワン	2個

(1) 今までの要領で下図のようにビニバーを組み立てる。

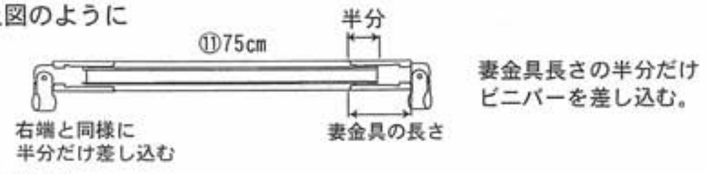
(2) 組み立てたビニバーを扉上部より2～3cmすき間が開く様に取り付けて、ビニバーの両端とアーチパイプとの接点を止める。



(3) ⑪75cmに㉙妻金具を取り付け、上図のように取り付けてください。

(4) ㉜パイプ止金具を今までの要領で取り付けてください。

(5) ⑧戸受けパイプをクロスワンを使い上図のように取り付けてください。

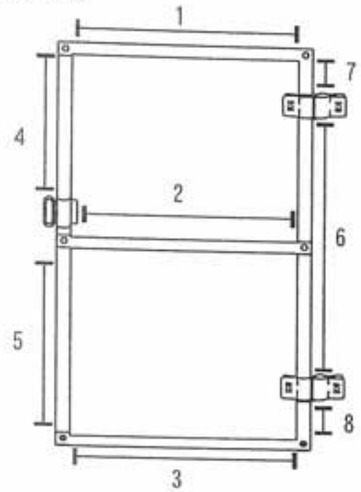


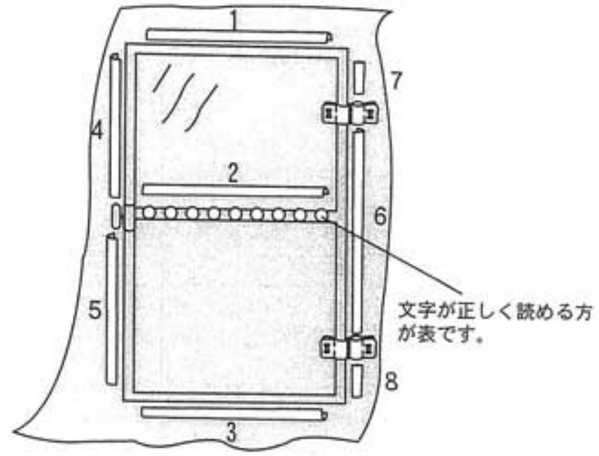
⑮ 扉にビニールを張る。

Cケース	⑳	ロングバッカー

Dケース	㉓	扉ビニール

扉にビニールを張り付ける為に、⑳を切り揃えて下さい。





⑳ロングバッカーを各1～8の寸法に金ノコ／ノコギリでそれぞれ切る。

●⑳は、カッターで無理に切ろうとすると非常に危険ですので絶対にカッターでの作業はしないで下さい。
●カナノコ／ノコギリ使用の際は、ケガをしないよう注意して下さい。

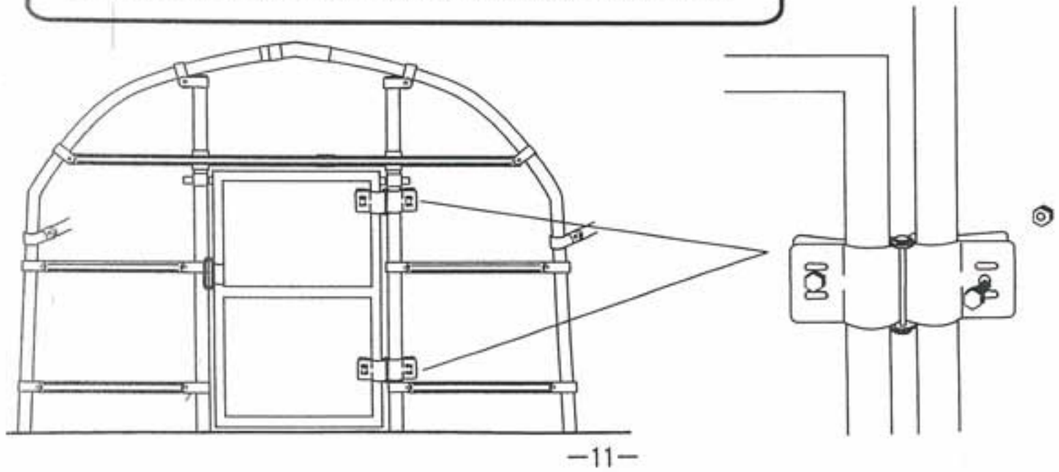
○ピーンと張りながら、各数字の順番に取り付ける。（あまり強く張りすぎると取り付けにくいです）
○風などによりはずれない様にキツくなっています。
○取り付け、取り外しを何回もされるとビニールが破れますので注意して下さい。

⑳は１回で取り付ける様に止めて下さい。（何回もやり直すとビニールが破けます。）
⑳は、はずれにくい様にきつくなっていますので、内／外側から同様に抑え込む様に取り付ける。

⑯ 扉を本体に取り付ける。

取り付け後、開閉がスムーズに出来るか確認して下さい。

金具のボルトナットの突起部が内側になる様に取り付ける。

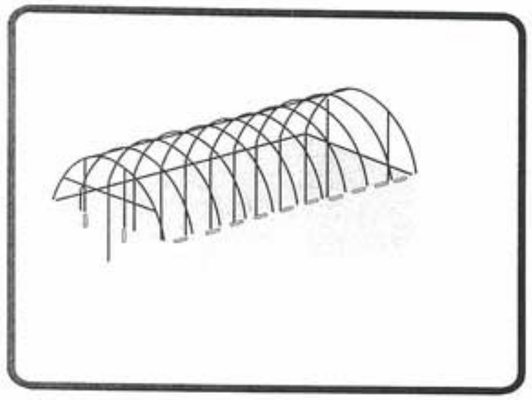


⑰ 側ビニールを張る。

Dケース ㉒ 側ビニール

Eケース ㉝ パッカー 8本

Eケース ㉞ パッカー 20本



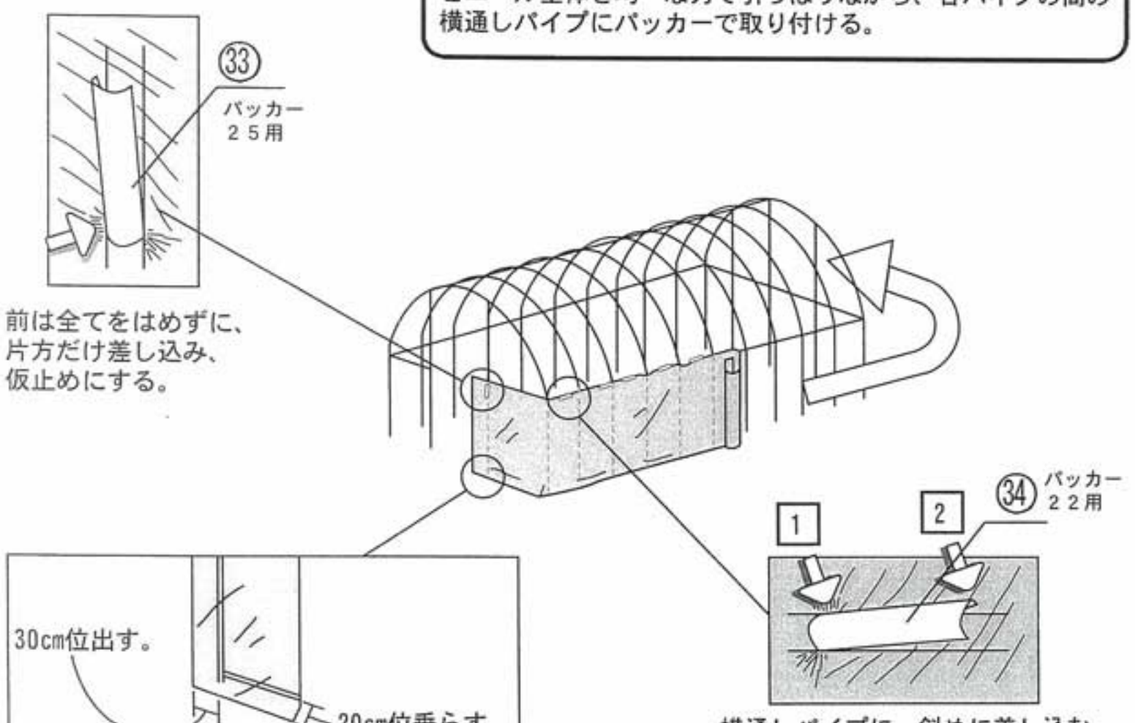
作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意して下さい。

ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。

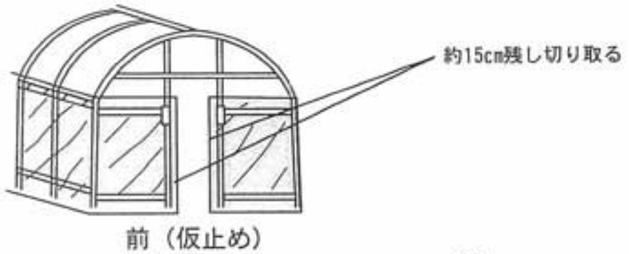
パッカーは１回で取り付ける様に止めて下さい。（何回もやり直すとビニールが破けます。）

完成予定図

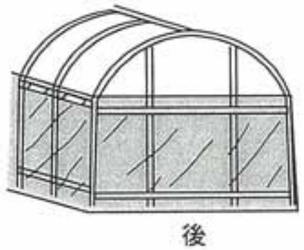
ビニール全体を均一な力で引っぱりながら、各パイプの間の横通しパイプにパッカーで取り付ける。



横通しパイプに、斜めに差し込む



前（仮止め）

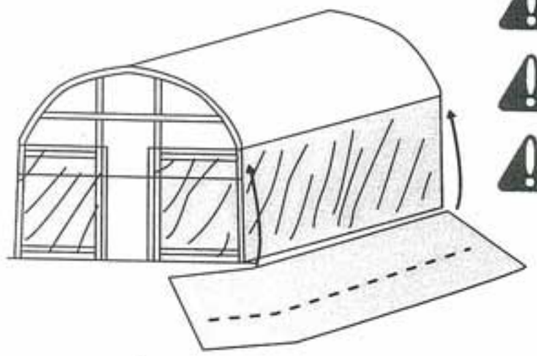


後

⑱ 天ビニールを被せる。

Cケース ⑲ スプリング

Dケース ㉑ 天ビニール

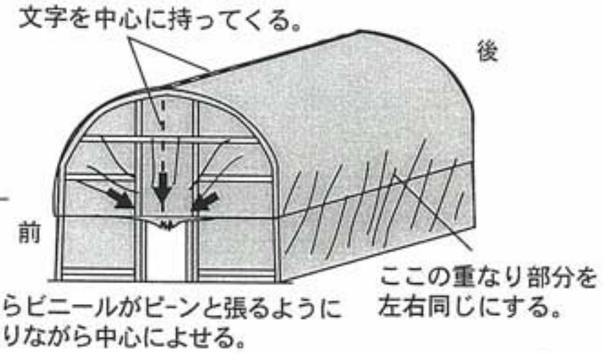


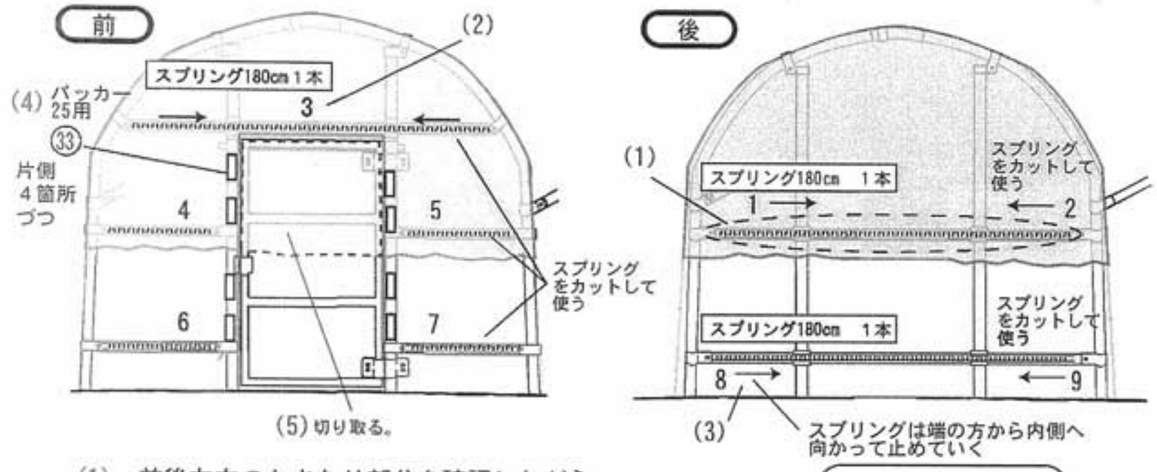
文字が正しく読める方が表です。

作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意して下さい。

ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にして下さい。

風の強いときは、思わぬ力で引っぱられますので作業しないで下さい。





(1) 前後左右のかさなり部分を確認しながら、後の点線部分を天ビニールと側ビニールを一緒に⑲でとめてください。

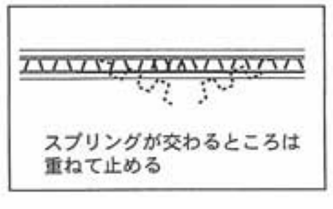
(2) 前の方に天ビニールをピーンと張りながら、前の方を数字の順番に止めて下さい。

(3) 後の方の側ビニールを数字の順番に止めて下さい。

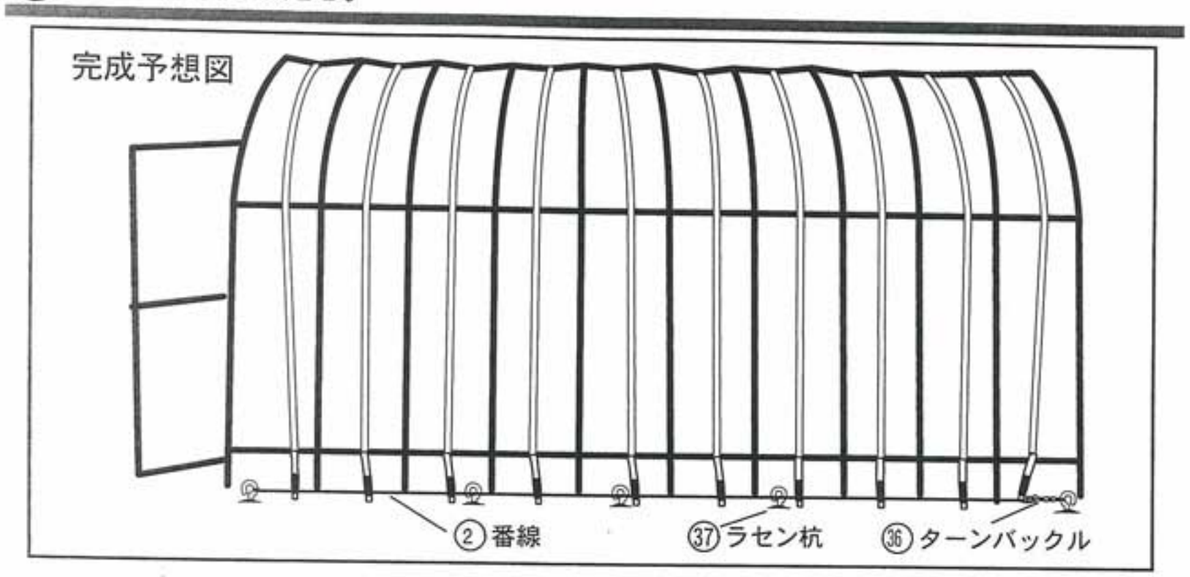
(4) 前図の位置にパッカーでビニールを止めてください。（左右８箇所）

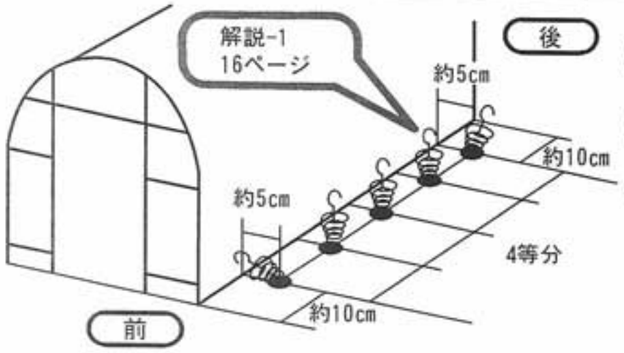
(5) 前の扉部は、15cm位残して切り取って下さい。

※前後の天ビニール下端部は、特にそのままでも構いませんが、切り取られる際はケガ・切りすぎ等に注意して下さい。



⑲ ラセン杭をねじ込む。





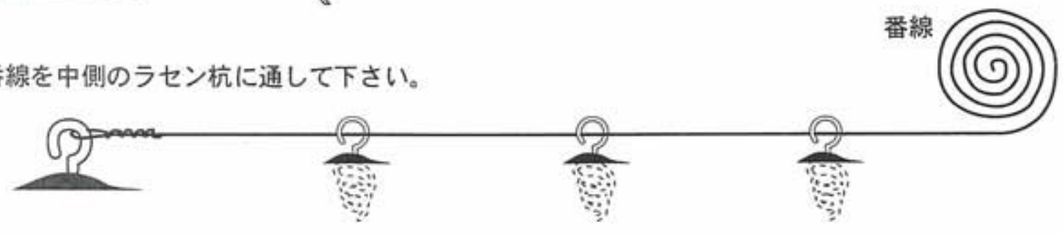
Eケース	㊲	ラセン杭	10本
Eケース	㊱	ターンバックル	2本
Aケース	②	カラー番線	

先ず片方の説明をしますので（1）～（6）まで終わりましたら同じ要領で反対側も作業して下さい。

（1） ラセン杭を、上図の位置にねじり込んで下さい。（解説-1　16ページ）

（2） 端のラセン杭に、②カラー番線を引っかけてしっかり止めて下さい。

（3） 番線を中側のラセン杭に通して下さい。



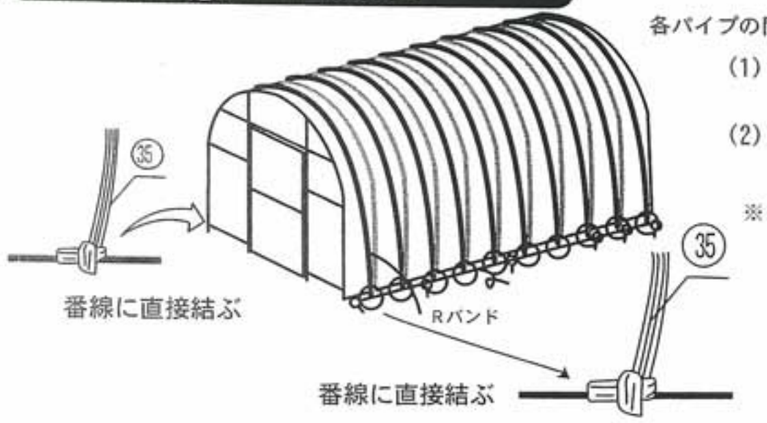
（4） ターンバックルを、片端のラセン杭に引っかけて下さい。

（5） ターンバックルに②カラー番線を引っかけてしっかり止めて下さい。

（6） 弛めておいたターンバックルのネジ部を締めて下さい。

⑳ ビニールを押える。

Eケース	㉟	Rバンド



各パイプの間にバンドを張ります。

（1） 片方の番線に㉟を直接結び止めて下さい。

（2） ビニールの上に㉟をかけて反対側の番線に直接結び止めて下さい。

※ バンドは定期的に締め直して下さい。

■商品を末永くご愛用していただく為にも下記事項をお読み下さい。

■規格等が分かるように、全ての用紙を保管して下さい。

●ビニールについて

○ビニールを燃やすと有害なガスを発生しますので絶対に燃やさないでください。

○側ビニールを巻き上げたままにしておくと下ろす際にくっついて破れることがありますので注意してください。

○替えビニールの販売もしています。

●パイプについて

○パイプは特殊亜鉛メッキ加工を施してありますが、長年ご利用されていると切り口等からサビが発生します（設置条件等で年数は変わります）ので、そのまま使用されると接触したビニールが破けます。錆付いたパイプ（部品含む）は交換してください。

●バンドについて

○長年利用されていると、老朽等により劣化します。（設置条件等で年数は変わります）。そのまま使用されると接触したビニールが破けますので、劣化したバンドは交換してください。

NAN-EI 南栄工業株式会社